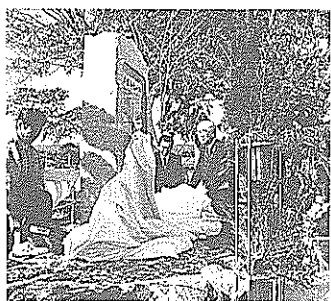


# 紀貫之をしのび

## 土佐日記の碑を建立

### 紀氏邸跡で盛大に除幕式



紀氏旧跡碑建立三百年を記念して、「土佐日記の碑」がこのほど比江の紀氏邸跡に建立され、十月十四日に関係者約百五十人が出席して除幕式が行われました。

これは、国府史跡保存会(乾常美会長)が、「土佐日記」の作者紀貫之をしのぶとともに、旧跡碑を建立した尾池春水らの業績をたたえようと、寄付などを募って建立を進めていたもので、高さ一・五メートル、幅九〇センチ。表に土佐日記の中から「みやこへと おもふをもののかなしきは かへらぬひとの あればなきりけり」「さをさせどそこひも

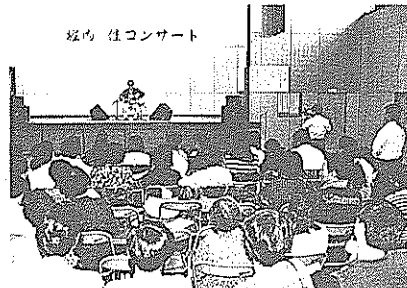
さつしました。また、国府小では、八月に行われた「土佐のまほろば写生会」の作品の展示や表彰も行われました。入賞者は次のとおりです。市長賞▽平田将貴(奈路小)▽教育長賞▽小笠原隆(国府小)▽国府史跡保存会長賞▽榎金里紗(大湊小)▽特選▽川村幸人(奈路小)、西川知良(同)、平田さち(同)、川田啓二(国府小)、和泉絢子(同)、岩原大輔(同)、南部実紀(天津小)、小松志帆(北陵中)、小笠原淳(同)。

しらぬ わたつみの ふかきところを きみにみるかな」と刻まれています。除幕式では、尾池春水ゆかりの尾池龍之進さん(高松市)や市長が除幕。読経の後、乾会長は「後世に残す一つの努めを果たすことができました」とあい

### 部落解放を目指す

### 活動の成果を発表

### 第三回集会所・識字学級文化祭



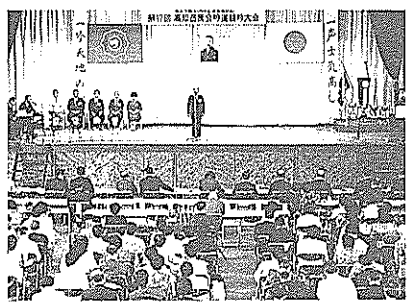
堀内佳さんがすばらしい歌声を披露

第三回集会所・識字学級文化祭が、十月七日、八日の両日、

西部体育館で行われ、約六百人の市民が訪れました。会場では識字学級生の作品や集会所活動の成果の披露、解放子ども会による劇などが行われました。

また、七日には盲目というハンディを克服して活躍する堀内佳さんのコンサートも開かれ、会場を訪れた皆さんは、ときには手拍子を交えながら、その歌声にうっとり聞き入っていました。

## 市制三十周年を記念して 第十七回詩吟大会を 南国市で開催



市民体育館で行われた決勝大会

高知岳風会が主催する第十七回吟道競吟大会が、十月八日に市民体育館を主会場に開かれました。

この大会は文化の振興を図ろうと毎年行われているもので、市制施行三十周年を記念して今年も南国市で開催。二百人余りが日ごろ鍛えたのを競いまし

た。午前中予選を行い、午後二時から決勝大会。参加者の声は会場に朗々と響き渡っていました。また、会場では文化推進協議会の皆さんによる華曲の演奏やお茶席などもあり、大会を盛り上げていました。

## 米の流通問題を考える検討会開催

関係者30人が出席して

早くてうまい南国土佐の米を全国に——と、コメ問題検討会が、十月四日、関係者約三十人が出席して市役所で行われました。

これは、消費者ニーズの多様化や良質米指向、自主流通米の拡大、産地間競争の激化など、昨今の米を取り巻く環境は厳しいものがありますが、「早くてうまい南国土佐のコメ」を全国的にアピールし、関係機関が連携して抜本的な米戦略を立てようと、今回初めて開かれたものです。会では、今年八月に東京で行った新米キャンペーンやアンケートの結果が報告され、今後の課題などが熱心に討議されました。

## 恒例の演芸大会 約50組が熱演 優秀賞に明治一代女

市社会福祉協議会などの主催による第九回南国市演芸大会が、十月十五日に市民体育館で開か

れ、約五十組が熱演。すっかり恒例となった演芸大会に、この日も一千人余りが会場につめかけ、盛んな声援を送っていました。各賞の受賞者は次のとおりです。

優秀賞▽踊り「明治一代女」(野村登代香・三和)▽熱演賞「歌「よいどれて」三谷かな・大塚」▽アイデア賞「曲戯「上海華の曲戯団」杉本郁ほか・日章」▽ユーモア賞「踊り「アブラハム」(依光美恵子ほか・



阿波踊りを熱演する川添さん

長岡東部)▽特別賞「踊り「阿波踊り」(川添菅治・岡豊

## 福祉の現状を見つめ直す

### 第二十四回南国市社会福祉大会

支え合う社会を創造しよう——と、第二十四回南国市社会福祉大会が、九月二十九日に社会福祉センターで開かれました。

これは、従来の施設中心型の福祉から地域生活型の福祉へ移行しつつあり、特に高齢化社会を迎えて在宅サービス需要の多様化と伸びが見られる中で、現状を再認識し、当面する課題と今後のあり方を研修するために開かれたものです。大会には関係者百五十人余り

が出席。講演や意見交換などを通して福祉について改めて見つめ直していました。また、席上、功労者などの表彰も行われましたが、市長表彰を受けたのは次の皆さんです。

植田隆雄市民生委員協議会理事、濱田重彦市民生児童委員、西和田克美後免地区社会福祉協議会副会長、前田喜美子久礼田地区社会福祉協議会理事、安松久子老人クラブ包末長寿会副会長。

## 郷土の産品を使った 米料理講習会

生改員と高校生の交流を図る

郷土の米料理講習会が、十月十三日に高知農業高校で開かれ、生活科の三年生の皆さんが、生活改善実行グループ員の皆さんの指導で、郷土でとれる材料を使った米料理に挑戦しました。これは、米の消費拡大と、生活改善員と若い世代の交流を図

## 民間国際交流の拠点 「雲柱閣」落成

三男の死をこえて



200人が出席して落成式

国際交流宿舎「雲柱閣」が国分に完成し、十月十五日に関係者約二百人が出席して盛大に落成式が行われました。この雲柱閣は、高知市朝倉の森崎金治、智さん夫妻が、昨年



試食しながら歓談する参加者

交通事故で亡くなった三男丈治さんとの夢を実現しようとして今年五月から建設を進めていたアジアからの留学生を対象とした宿泊施設で、木造二階建て、延べ床面積九五平方メートル、四人が宿泊できる部屋と、集会所兼臨時宿泊用のスペースが設けられています。入居対象は高知医大か高知大に在籍するアジアからの留学生や研修生、研究生で、雲柱閣入居者選考委員会が面接を行って決定。家賃は無料で、水道料と光熱費を入居者が負担することになっています。